

公表:令和 7 年 2 月 1 日

事業所名 ゆうあいくらぶ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。		3		同事業所の児童発達支援で使用している視覚支援カード等を用いる等の対応をしている。	今後も、同事業所の効果的な支援を有効に活用していく。その他の必要教材の選択については不十分なところがあるので、他事業所との情報共有等で学ばせていただきたいと思う。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3			訪問日が重ならないよう調整している。	今後も、調整を密にしている。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	2		断続的な業務改善に向けて、同事業所の職員と情報交換を行った。	今後、定期的に設けている事業所会議等を有効に活用しながら検討していく。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1		今回が初めての調査。	今後、調査結果を集計、考察しながら事業運営に生かしていく。
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1		同事業所間で情報共有する機会あり。必要に応じて現場職員からアドバイスをもらって支援につなげている。	今後も継続していく。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1		R6.4~の事業なので未参加ではあるが、法人としては、年2回の報告会で評価を受ける機会が設けられている。	今後、第三者による外部評価の結果を業務改善に努めていく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		1	法人内の研修としては、保育所等訪問に特化したものに関する実施は行っていない。	法人研修の他、保育所等訪問に特化した外部研修への参加機会確保も難しかったので今後の課題。
	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2	1		相談支援計画書や各支援計画書に沿うよう努めている。	児童の課題を十分に分析していくことが今後の課題。子どもと保護者に寄り添う計画書を作成していく。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	1		共通理解のもとで保育所等訪問支援計画を作成している。	今後も継続していく。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1	2		連携に務めた。	家族以外の意向の盛り込みが不十分な点があるので、今後の課題。

適切な支援の提供	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	2		計画に沿った支援を提供している。	初年度ということもあるが、情報共有が不足している現状があると感じたため、今後の課題。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3			現行のアセスメントにて課題を取り出している。	今後も継続していく。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3			実施している。	今後も、こどもと保護者に寄り添う計画書を作成していく。
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1		単独支援なので、打ち合わせというよりも報告が多いが、情報を共有し、必要な情報を得てから支援に向いている。	今後も、定期的に設けている事業所会議等を有効に活用して支援提供していく。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1		単独支援なので打ち合わせはないが、気付いた点を共有する機会を設けている。	今後も、定期的に設けている事業所会議等を有効に活用して支援提供していく。
	16	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2	1		初年度ということで、意見交換や情報共有の機会を設けて互いを知ることを課題にしてきた。	今後も学ばせていただきます。
	17	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3			訪問終了後必ず記録を残し改善につなげている。	今後も継続していく。
	18	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	1		定期的な見直し機会を設けている。	訪問先に対しての意向確認は充分ではなかったと感じる。今後の課題。
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	1	1	適した者が参加している。	今後も継続していく。
	20	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1		関係機関との連携に務めた。	幅広い関係機関と連携ができていないといえなかつたので今後の課題。
	21	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	2		今年度、そのような機会なし。	今後、そのような場面で活かせるような取り組みをしていきたい。
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		1	保育所等訪問を行っている事業所へ出向き、支援方法を学ばせていただいた。	専門家や専門機関から助言をいただく機会はなかった。保育所等訪問に特化した外部研修への参加機会確保も難しかったので今後の課題。
	23	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		1	2	こども部会がなく、機会なし。	機会があれば積極的に参加していく。
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2	1		常に連携に務めている。	今後も、継続していく。

25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1	1		職員のスキルアップが必要となるため、研修等に参加しながらスキル向上を目指す。	
26	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			契約時に行っている。	今後も、丁寧な説明を行っていく。	
27	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3			事前に説明を行っている。	事業趣旨や目的を十分に理解していただけるような説明を行っていくことが今後の課題。	
28	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			アセスメントやモニタリング時の他、必要に応じて意思の確認を行っている。	今後も継続していく。	
29	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			実施している。	今後も、継続していく。	
30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3			連携に務めている。	今後も継続して連携を図っていく。	
31	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。			3	特に親の会を作ることはしていません。地域の方に参加していただく機会として、おもちゃ図書館を開催中です。	今後も、継続していく。	
32	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			連携に務めている。	今後も継続して連携を図っていく。	
33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		1	2	初年度ということもあり、発信できていない現状。	今後、検討していく。	
34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			個人情報管理規定に基づき管理している。	今後も継続していく。	
35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			配慮に務めている。	今後も継続していく。	
訪問先施設への説明等	36	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2	1		訪問先と情報共有し、相談への対応を行った。	情報共有と相談対応のみで、助言や支援を行うまでは至らなかった。
	37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1	2		頻度が少なく、訪問支援実施後すぐの時間を確保するのが難しい現状だった。	訪問先の理解と協力をいただけるような環境を整えていくことが今後の課題。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3			実施している。	今後も継続していく。
	39	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	1		信頼関係構築の段階。	相談に応じることはあったが、専門的な助言を行う場面は少なかった。今後のスキルアップが課題。

非常時等の対応	40	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	1	1	同事業所として緊急時対応マニュアルがあるが想定訓練は職員のみ。	訪問先での支援ということもあり、独自のものは無い。今後、検討が必要。
	41	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		1	定期的な防災訓練の他、定期的に室内外の環境整備を行い、安全管理に務めている。また、内部研修等で技術向上を図っている。	今後も継続していく。
	42	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	1		同事業所では、ヒヤリハット発生時に記録を作成し、情報共有と再発防止に務めている現状がある。訪問時には、児童に危険を及ぼす行動や声掛けをしないよう心がけている。	ヒヤリは発生していない。そのような場面に直面した場合は同事業所の書式で記録を作成し、情報共有と再発防止に務める。
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			法人としての定期的な研修がある。虐待防止マニュアルを整備している。	今後も継続していく。
	44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1		1	現在、身体拘束を必要とする児童の利用はないが、身体拘束マニュアルを整備している。	今後、身体拘束を必要とする児童の利用がある際には、そのような対応をしていかなければならないと考えている。